

《研究に関する情報公開文書》

研究課題 : 経皮感作食物アレルギーの発症原因と予後などに関するアンケート調査
主研究機関 : 藤田保健衛生大学
医学部 アレルギー疾患対策医療学
対象医療機関 : 日本アレルギー学会「化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会」
において確実例を登録した医療施設（約270施設）
研究責任者 : 藤田保健衛生大学医学部 アレルギー疾患対策医療学 教授 松永佳世子
連絡先 : TEL 0562-93-9441（月～金 10:00～14:00）
研究期間 : 2022年3月31日まで（予定）

研究の目的・背景：

アレルギー疾患は、国民の2人から3人に1人が何らかのアレルギーを持っているといわれるほど、罹患率が高くなっています。その多くは、花粉症や食物アレルギーですが、昨今では、(旧)茶のしずく石鹸による即時型コムギアレルギーのように、新たな疾患が急激に大規模に発生し、社会問題となったケースもありました。

アレルギー疾患は、重篤な場合においては、アナフィラキシーショックによる死亡など、生命を脅かすこともあります。ですから、アレルギーを取り巻く最新の情報を調査し、把握しておくことは、医療の質の向上、患者さんのリスク管理において、重要かつ必須であると考えます。

特に(旧)茶のしずく石鹸の事例以降、常にアレルギー疾患の現状を調査し、把握しておくことが、重要と考えられるようになりました。本研究では、特に以下の項目に対して、調査いたします。

1. (旧)茶のしずく石鹸患者の予後がどうなっているか
2. (旧)茶のしずく石鹸以外の化粧品などによる食物アレルギーがあるか
3. 上記以外に経皮感作食物アレルギーを起こすものにどのようなものがあるか

本研究により、アレルギー診療の現状が把握できれば、(旧)茶のしずく石鹸に関わる患者や医療関係者に限らず、国民全体にとって有益な情報となり、医療の質の向上、QOL向上に繋がると期待されます。

担当医師が、上記1～3に該当すると判断した患者さんについて、年齢、性別、問診情報（発症原因物質、検査結果、症状、治癒の状況、日常の制限状況、などの情報がアンケートに記載されます。個人を特定しうる情報（カルテID・氏名など）については提供されません。

研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応に関する情報：

本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、担当医師にご相談ください。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。

また、研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、上記連絡先にお申し出下さい。